

# PHILIPS

## Healthcare

ハートスタート  
FRx+

自動体外式除細動器



# 札幌市の行政施設から学ぶ 公共施設における 「AED 適正配置」

## 施設の安全管理に取り組む札幌市民交流プラザ

AEDの配置場所次第で、命を救える可能性は変わります。AEDの適正配置はどうあるべきか。行政が主体となって、施設の安全管理体制で先進的な取り組みを行っている札幌市の公共施設である札幌市民交流プラザの事例をご紹介します。

## 来館者の安全確保が重要なテーマ

札幌市民交流プラザは、札幌市街の中央、大通公園と札幌市時計台のほど近くに位置します。札幌文化芸術劇場 hitaru、札幌文化芸術交流センター SCARTS、札幌市図書・情報館からなる複合施設で、1か月の来館者数は10万人を超えます。設立に際して大きなテーマの1つとなったのは「来館者の安全確保」でした。

## 安全管理義務として一般化しつつあるAED設置

近年、人が集まる大型施設では、施設側の安全管理義務の1つとしてAED設置が一般化しつつあります。公共施設や交通機関、ショッピングセンター、スタジアム、ホテル等へのAED設置を推進する自治体も増え、一定基準に該当する施設に設置を義務化する流れも生まれています。



札幌市芸術文化財団市民交流プラザ事業部  
松島康之さん(取材当時)



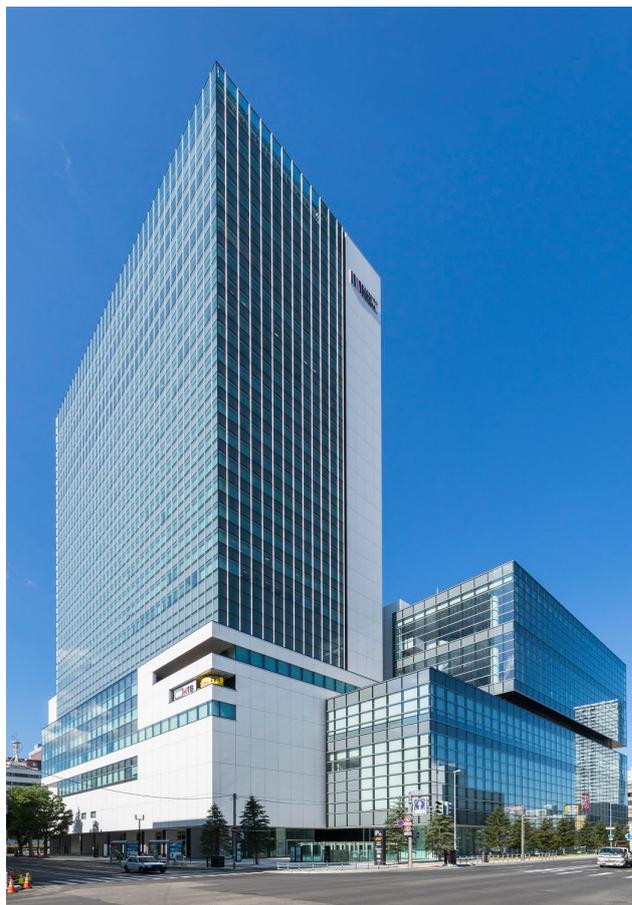
札幌市民交流プラザに導入されているフィリップスのハートスタートFRx+

### 市民が集う場として安全な施設づくりを目指す

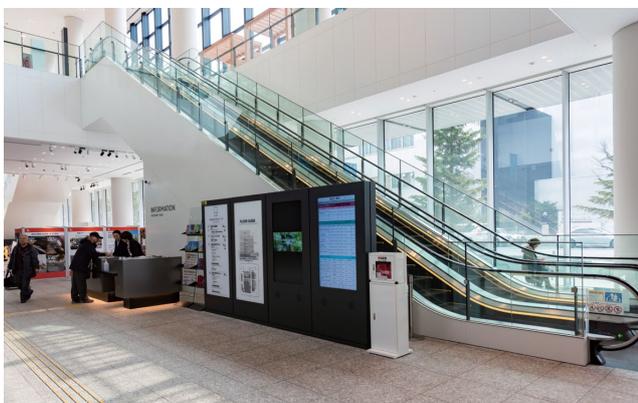
こうした流れを見据えて、札幌市民交流プラザでは救急時に備えて計20台弱のAEDを設置。施設の管理を担当する札幌市芸術文化財団市民交流プラザ事業部の松島康之さん(2019年3月当時)は、施設の安全管理体制の重要性をこう語ります。「万が一の救急対応時を想定して、オープン前からAEDの適正配置を検討してきました。市民が集う場を創出する側の義務として、誰もが安心して過ごせる場にすることが私たちの役割です。AEDを置いていても、設置間隔や設置数が不十分な施設もあるなかで、一歩進んだ安全対策をどう実施するかが大切と考えています。そのため、最低限の対策にとどまらず、AEDの適正な配置を行うなど行き届いた安全管理体制をつくることを早い段階から決めていました」

### 来館者目線で考えたAED適正配置の条件とは

札幌市民交流プラザに訪れた多くの人が最初に立ち寄るのが1階の総合案内所です。案内板に並んでAEDが設置され、さらに劇場や図書館へ至るエスカレーターを上った先の2階にもAEDが置かれています。AEDの設置基準として最も重視したのが、誰もが目にしやすい場所に置くこと。総合案内には多くの人が立ち寄る場所であり、案内板の隣にAEDがあることで自然と視界に入ります。また、エスカレーターに乗る時は、行き先に目線が向きます。その目線が届く先にAEDを置くことで、できるだけ多くの人の目に触れるよう工夫されました。



札幌市民交流プラザ



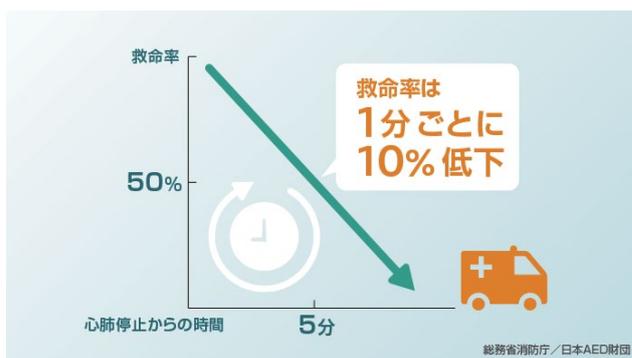
1階総合案内板の隣に設置されているAED



2階のエスカレーター昇降エリアにもAEDを設置

### 万が一の時、救急車到着前に何ができるか

救急車到着時間は全国平均で8.6分<sup>1</sup>ですが、心肺停止から10分以上が経過した場合、助かる可能性は低くなります。心臓突然死から命を守るには、心肺停止の予防、早期認識と通報、心肺蘇生とAEDによる一次救命処置、救急隊や病院での二次救命処置からなる救命の連鎖を踏まえた対応が必要で、施設側としては早期認識と通報、そして一次救命処置の対応が大切です。万一の事態に備えた通報体制を整え、人の目につきやすい場所にAEDを設置して、居合わせた人がAEDを使える環境を提供することが必要です。



### 1フロアに1台以上のAEDを配置

札幌市民交流プラザでは、各フロアの見通しのよい場所に1台から2台のAEDを設置しています。心肺停止は、発生から1分ごとに7%から10%ずつ救命率が下がりますが、5分以内であれば約半数の人の命が助かるといわれます。そこで、今はAED講習受講者も増えてきたことも踏まえ、倒れた人の救命を第一に考えるならば、その場に居合わせた人がすばやく対応できる環境を整えるべきと考え、心肺停止の発生から5分以内にAEDによる処置ができるように計画。階を超えての移動にはAED到着までの時間が大幅にロスするため「1フロアに最低1 AED」という基準が定められました。

### 劇場舞台裏にはAEDを2台配置

施設内にある2,302人収容の札幌文化芸術劇場 hitaru には、舞台裏に2台のAEDが設置されています。これは、劇場の舞台技術者からの提案で実現したものです。演劇や演奏は激しいパフォーマンスを伴うこともあり、ご高齢の出演者が増えていることも考慮して、楽屋近くと舞台の下手にそれぞれ1台ずつ設置されました。

### AED選定における決め手

AED選定の決め手について、松島さんは「広く市民の方が使うことを考え、使いやすさを重視し、耳の不自由な人や外国人でも使えるように目で見てもわかりやすいナビゲーションのAEDを選びました。フィリップスのAEDは行政施設や劇場、図書館などに数多くの導入実績があり、安心して使っています」と言います。

### AEDは「常にそこにある」ことが大切

札幌市民交流プラザのオープン前から安全管理体制づくりに奔走してきた松島さんは、AEDの重要性について次のように実感していると言います。「AEDは『常にそこにある』ことが何より大切です。私もAEDの適正配置に関わってから、思ったより多くのAEDが私たちの暮らしの中にあることに気づきました。この安心感は大きいと思います。市民の方々も施設を利用するなかで、AEDの存在をなんとなく感じとっていただければ何よりです。今後、地域に根差す施設として、施設内はもちろん、近隣エリアで心肺停止が発生した際にも、施設のAEDの使用を想定しています」

### 「AED適正配置」を通じて安心できる町づくりを

私たちが街中で見かけるAEDは、まさに安心の象徴です。AEDは、人々の助け合い精神が発揮されることに希望を託し、そこにあります。そして、手を差し伸べた人たちの行動が報われるためには、命のリミットに間に合う適切な範囲内にAEDがあることが欠かせません。行政などの施設運営者が主体となって進める「AEDの適正配置」は、社会全体の安心と助け合い精神を実現する重要なプロセスともいえるのです。



札幌文化芸術劇場 hitaru



### 緊急時の1-2-3ステップ



1

緑の電源 On/Off ボタンを押すと、音声メッセージが流れ、アイコンが点灯します。



2

指示に従って傷病者にパッドを装着します。



3

FRx+から指示があれば、オレンジのショック・ボタンを押します。



付属のクイック・リファレンス・ガイドには、操作手順のイラストが記載されています。



## 耳マーク

フィリップスのAEDは、聞こえない人、聞こえにくい人への配慮を表す耳マークの承認を取得しています。

### AED取り扱いについての注意点

- ・AEDを設置した際は、AED管理者が、製造販売業者の推奨する保守点検を実施するとともに、AEDの常時使用可能な状態の確認をしてください。電極パッド、バッテリーの使用期限の確認、および期限内の交換の実施を確実に行ってください。(電極パッドは使い捨てのため、再使用は禁止されています。)
- ・医療機器は、その品質、有効性及び安全性の確保を維持する期間を明確化するために、「耐用期間」が設定されています。「耐用期間」を過ぎたAEDは、できるだけ速やかな更新をお勧めします。
- ・製品に同梱された表示ラベルは、電極パッド、バッテリー等の消耗品の使用期限がわかるように本体またはキャリングケース、キャビネット等のわかりやすい位置に設置してください。表示ラベル等が添付されていない場合は販売業者へ連絡してください。
- ・以下の場合は管理者が製造販売業者へ連絡してください。
  - 不測の事態が発生したとき
  - 譲渡するとき  
(高度管理医療機器販売業の許可を有する業者に限る)
  - 廃棄するとき
- ・未就学児に対する成人用(標準)モードでのAEDの使用は、小児用パッドあるいは小児用キーによる小児用モードを備えたAEDが近くにない等、やむを得ない場合に限り使用してください。また、未就学児に使用する場合には、2枚のパッドが触れ合わないよう特に注意してください。
- ・添付文書を必ずお読みください。

AEDは救命処置のための医療機器です。AEDを設置したら、いつでも使用できるように、AEDのインジケータや消耗品の有効期限などを日頃から点検することが重要です。製造販売業者または販売業者が、設置者の保守管理の手間を軽減する独自のサービスをご用意しております。お客様のご都合に合わせて、これらを利用し、いつでもAEDが使える状態にしておいてください。

### 1. 総務省消防庁「平成30年版 救急・救命の現況」に基づく

#### 製造販売業者 株式会社フィリップス・ジャパン

〒108-8507 東京都港区港南 2-13-37 フィリップスビル  
AED コールセンター 0120-802-337  
03-3740-3269

受付時間 9:00～18:00  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

[www.philips.co.jp/healthcare](http://www.philips.co.jp/healthcare)



販売名：ハートスタートFRx  
医療機器承認番号：22000BZX00305000  
特定保守管理医療機器/高度管理医療機器

販売名：スマートパッド  
医療機器届出番号：13B1X00221000029  
一般医療機器

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「AED コールセンター」までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. またはその他の会社の商標または登録商標です。